

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	むすびヶ丘 旗の台		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 14日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの発達段階を理解し、特性や課題等に応じて支援を行っている。	個別支援計画に沿った課題に取り組み、様々な教材を使い、日々のプログラムを考えている。	療育の質の向上のためにも、職員間での共有を怠ることなく、継続的な支援ができるよう努め、経験が積み重ねられるよう支援を行っていく。
2	モニターで支援の様子をリアルタイムで見学することができ、支援後のフィードバックが充実している。	何のために必要であり、どの動作に繋がるための支援かを伝え、その時の児童の様子を伝えるため、保護者が理解しやすい。	保護者様から聞いた情報は職員間で共有を行うことをし、最適な支援ができるよう努める。ご自宅での様子なども共有して頂き、より現状や課題を把握し、職員への情報共有を行っていく。
3	1対1での支援のため充実した支援が受けられる。	保育士5年以上の職員が配置されている。児童の担当は担任制にせず、どの指導員とも関わられるように療育を行っている。次回の療育に活かせるように共有を図っている。	指導員間では、カンファレンスを行い情報共有を図る。また、知識の向上に努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会としての開催ができていない。	保護者様同士の関わり合いや、家族支援としての面談の機会を増やせるよう検討していく。	聞きたいことや話したいこと、相談したいことなどが気軽に聞けるような環境を作っていきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	プログラムで活動していることもあり、他園や地域での交流の機会が持てていない。	来年度より小集団での活動プログラムがありますので、交流する機会が持てるようになる。少人数であるため、手厚く関わることができる。
3	安全管理(防災・感染症対策)、BCP(事業継続計画)への取り組みの周知活動	取りんでいる各対策についての保護者様の理解は進んでいないので、安心して頂けるよう情報を発信していく。	HUGでの発信、保護者待合に置く等で周知をしていく。